

## 平成27年11月分の調査・駆除件数に関する考察

1. 平成25年以降、毎年11月を、セアカゴケグモの調査・駆除強化月間として、市内一斉調査・駆除を実施している。定期的・計画的な調査・駆除は、東区122件、博多区35件、中央区18件、南区8件、城南区2件、早良区7件、西区7件、市外の本市管理地1件、計200件であった。東区、博多区、中央区及び市外の本市管理地で、セアカゴケグモが発見された。
2. 11月の発見・通報に伴う駆除は、セアカゴケグモが、東区で6件20匹であった。
3. 11月を調査・駆除強化月間として市内一斉調査・駆除を実施し、駆除匹数は今年最も多くなった。駆除実績は、前年の調査件数133件、セアカゴケグモの駆除1,037匹に対し、今年は200件、1,069匹であった。発見通報に伴う駆除を含めた11月のセアカゴケグモ駆除匹数は、1,089匹であった。
4. 11月の卵のうの駆除個数は591個で、10月625個に比べ減少したが、9月401個、8月564個よりは多かった。前年(H26)の市内一斉調査・駆除と比較すると、前年の卵のうの駆除個数1,004に対して、今年は590個と半減した。
5. セアカゴケグモの全駆除匹数に占める公園・緑地での駆除匹数の割合は、11月41%で、10月59%、9月59%、8月62%に比べ低くなったが、調査・駆除強化月間の取組で、公営住宅、道路での発見・駆除が多くなったことによる。